

Edit Flowの設定オプション

構成：

- ジャーナルが、複数の種類の論文（例：研究論文、レビュー論文）を扱っており、著者が投稿時にその種類を申告する。
- ジャーナル内でセクションが分かれている。（例：専門分野やサブフィールド別）
- 上記に該当しない。（単一のパイプライン、単一種類の論文）

投稿：

- 著者が担当編集者を選ぶ。
- 著者が1人または複数の担当編集者を推薦する。
- 著者は編集者の選択に関与しない。
- 著者が担当編集者を選ぶ場合、その選択肢に編集長やマネージングエディターが含まれるか？
- 著者はPDF論文のみを投稿する。
- 著者はPDF論文と、査読者に公開されるカバーレターを投稿する。
- 著者はPDF論文と、査読者には公開されないカバーレターを投稿する。
- 著者はPDF論文、査読者と共有されるカバーレター、編集者のみに公開されるレターを投稿する。

トリアージ（仕分け）：

- 論文は選択された担当編集者に直接送られる。
- 論文は編集者や編集長に見られる前に、ジャーナル/出版社のスタッフによって審査される（編集者は関与しない）。
- 論文は編集長によって担当編集者に割り当てられる。
 - 未割り当ての論文は編集長とスタッフのみに表示される。
 - 未割り当ての論文は、そのURLを知っているすべての編集者に表示される。（例：編集長からのメールで相談を受けるなど）
- 必要に応じて、論文は編集長によって別の担当編集者に再割り当てされる。
- 必要に応じて、担当編集者が互いに論文を再割り当てできる。

コメントとレポートの依頼：

- 査読はシングルアノニマス（査読者は著者から非公開）
- 査読はダブルアノニマス（さらに著者は査読者から非公開）
- 担当編集者が、クイックオピニオン（コメント）や完全なレビュー/査読レポートを専門家に直接依頼する。
- 担当編集者は、必要に応じて、クイックオピニオンや完全なレポートを依頼するための専門家プールを事前に選定しておくことができる。
- 査読者は、レポートとともに、決定内容（アクセプト、軽微な修正、大幅な修正、リジェクト）を明示的に推奨しなければならない。
- 査読者は、レポートとともに、1から5までのスコアを付けなければならない。

ルール：

- 完全な査読レポートを依頼する前に：
 - まず外部のクイックオピニオンを得ることをUIが推奨する。
 - まず外部のクイックオピニオンを得なければならない。
 - 編集長がクイックオピニオンと担当編集者の助言を確認し、完全なレポートの依頼を承認する。
 - その他の条件、またはUIによる推奨。
- 論文が受理を推奨される、または受理される前に：
 - 少なくとも1つの外部レポートを得ることをUIが推奨する。
 - 少なくとも1つの外部レポートを得なければならない。
 - 少なくとも2つの外部レポートを得ることをUIが推奨する。
 - 少なくとも2つの外部レポートを得なければならない。
 - その他の条件、またはUIによる推奨。

修正：

- 著者はいつでも論文の修正版をアップロードできる。
- 著者は編集者から依頼があった後にのみ、論文の修正版をアップロードできる。
- 担当編集者が修正を依頼できる。
- 担当編集者が修正を推薦した後、編集長が修正を依頼する。
- 担当編集者が修正を推薦し、編集長が承認した後、担当編集者が修正を依頼する。

決定：

- 担当編集者が却下できる。
- 担当編集者が受理できる。
- 担当編集者が受理/却下を推薦できる。
- 担当編集者からの推薦後、編集長が却下する。
- 担当編集者からの推薦後、編集長が受理する。
- 十分な数の編集者が賛成票を投じた後、編集長が受理する（何票？ルールは？）。
- 理事会全体が論文に投票した後、編集長が受理する（ルールは？）。
- 理事会の議論と待機期間（どのくらいの期間？）の後、編集長が受理する。
- 編集長が著者に受理メールを送信する。
- 編集長が受理を承認し、その後担当編集者が実際の受理メッセージを送信する。
- 編集長が受理または却下を承認し、その後担当編集者が実際の決定メッセージを送信する。

可視性：

- すべての編集者が、すべての論文とそのデータを見ることができる。（自身が執筆したものを除く）
- すべての編集者が、決定を推奨されたすべての論文を見ることができる。（自身が執筆したものを除く）
- 編集者は自分が担当している論文のみを見ることができる。
- 論文が、その担当編集者または編集長以外の編集者に見える場合：
 - 編集者は著者の投稿物（原稿、要旨、カバーレター）のみを見ることができる。

- 編集者は投稿物と査読レポートを見ることができる。（査読者の名前は非公開）
- 編集者は論文のすべてのデータを見ることができる。
- 担当編集者が著者と直接やり取りする。
- プロセス全体を通して、担当編集者の身元は著者に非公開とする。
- 担当編集者が最終決定を著者に伝える。
- 編集長が最終決定を著者に伝える。